

# 障がいのある方の歯科保健医療 に関する実態調査報告

大分県福祉保健部  
健康対策課

平成 26 年 3 月

# I アンケート調査について

## 障がいのある方の歯科保健医療に関する実態調査

### 1. 調査の目的

本県では、障がい者(児)の歯科保健医療に関して、これまで県歯科医師会と連携し、県内の障がい者(児)関係施設における歯科健診や一般の歯科医療機関において障がい者(児)を診療する歯科医師の育成に努めてきた。

しかし、依然として障がい者が安心して歯科医療が受けられる状況にはないとの声もあり、また、どのような治療が望まれているかの把握等も十分にできていない状況である。

そこで、障がい者(児)の歯科保健医療について、本人若しくは家族のニーズ等を把握し、障がい者(児)の歯科治療体制の整備を図る一助とすることを目的に調査を実施した。

### 2. 調査の方法

#### 1) 調査対象

障がい者本人若しくは家族

#### 2) 調査方法

関係団体や施設を通じて、本人若しくは家族に本調査の趣旨を説明し、調査票を配付する。対象者記入の後、回収を行った。

#### 3) 調査票の配付回収方法

回収用封書に調査票を入れ、郵送にて回収した。

### 3. 調査期間

平成25年8月～9月

### 4. 回答数

202施設 4,263人

回収率 78.0%(202施設/259施設)

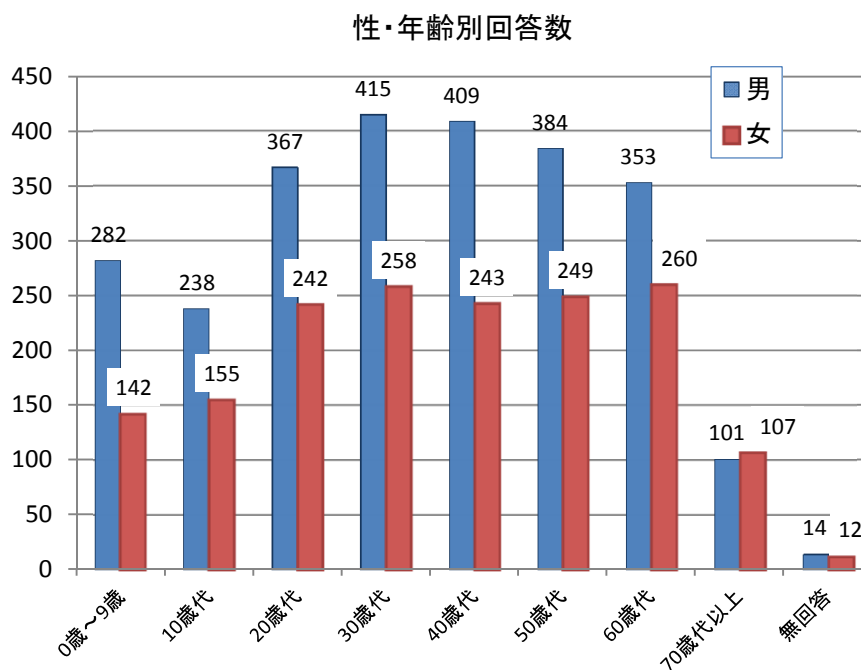
## II アンケート集計結果について

現在の状況

回答者内訳

性年齢別

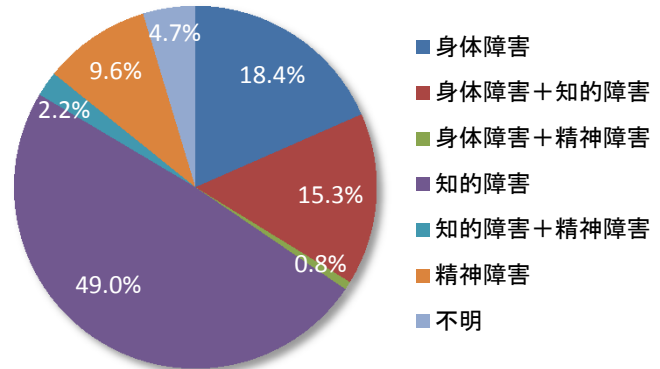
年齢	男	女	不明	計
0歳～9歳	282	142	1	425
10歳代	238	155	1	394
20歳代	367	242	1	610
30歳代	415	258	2	675
40歳代	409	243	2	654
50歳代	384	249	1	634
60歳代	353	260	1	614
70歳代以上	101	107	4	212
無回答	14	12	20	46
総計	2,563	1,667	33	4,263



0歳代、10歳代からは400人程度の回答が、また20歳代から60歳代までは約700人程度の回答があった。いずれの世代も男性の回答が女性の回答を上回った。

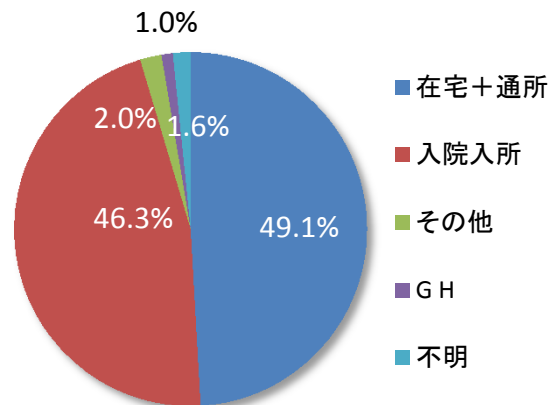
## 障がいの種別

障害の種別	人数
身体障害	785
身体障害+知的障害	654
身体障害+精神障害	32
知的障害	2,090
知的障害+精神障害	95
精神障害	407
記入なし	200
総計	4,263



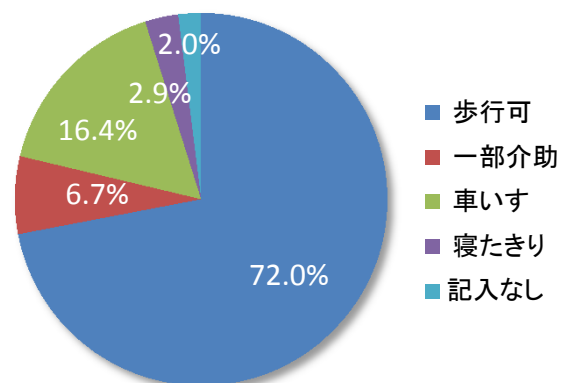
## 主な生活の場

主な生活の場	人数
在宅	1,278
通所	815
入院入所	1,973
グループホーム	74
その他	44
未記入	79
総計	4,263



## 日常の移動

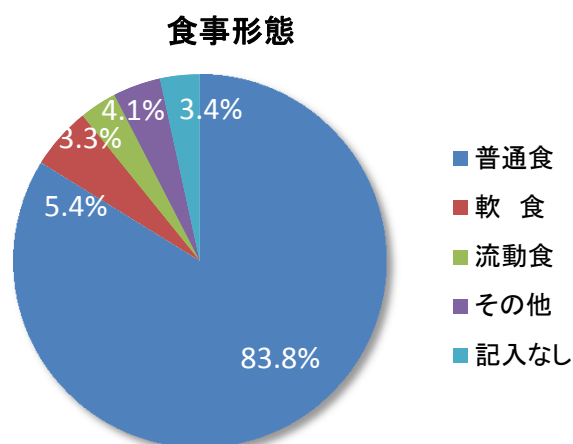
日常移動	人数
歩行可	3,069
一部介助	287
車いす	700
寝たきり	123
記入なし	84
総計	4,263



回答が得られた障がいの種別では、知的障害が約半数と多かった。主な生活の場は、在宅通所と入院入所がほとんどを占めた。日常の移動は約3/4が一部介助を含め歩行可であったが、車いす寝たきりも約1/4と多い状況であった。

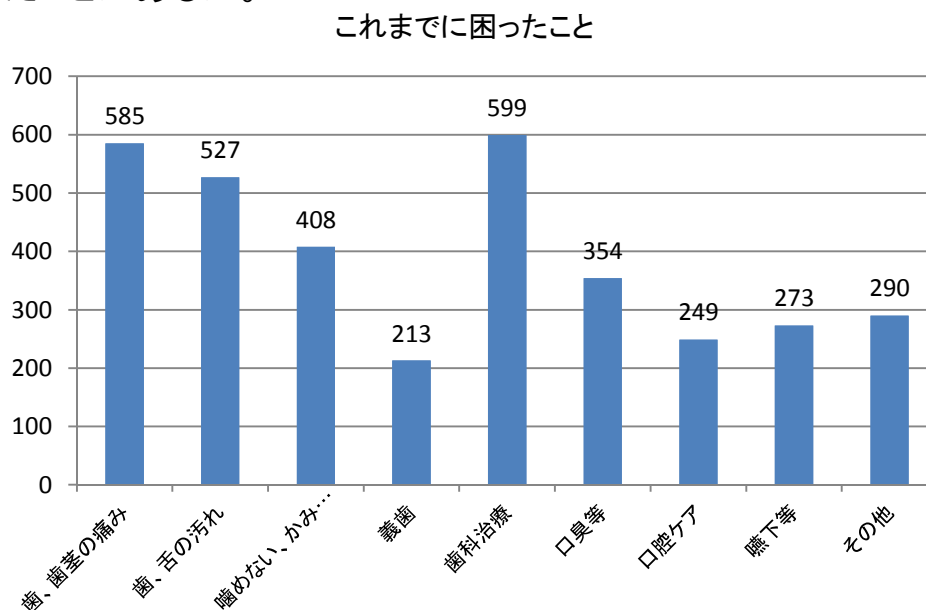
## 食事の状況

食事の形態	人数
普通食	3,573
軟食	229
流動食	139
その他	176
記入なし	146
総計	4,263



## II 歯・口のことについて

これまでに歯と口のことについて  
困ったことがあるか。

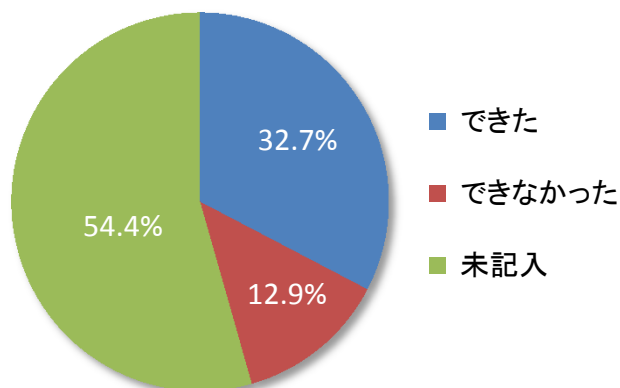


### その他困ったこと

歯みがき、歯ブラシ	46	歯並び	6
あまり噛まない	23	口内炎	6
歯がとれた、歯がない	12	歯石	4
口が開けにくい、開けてくれない	12	歯周病で歯が揺れる	4
むし歯がある	12	うがいができない	4
飲み込み	11	歯ぎしり	3
治療してもらえない、治療できない	10	どこに行ってもよいかわからない	3
歯が少ない	10	よだれが多い	2
訴えができない	8		
生え替わり、先天欠損歯	8		

困ったことは解決できたか。

困ったことの解決	人数
できた	1,392
できなかった	551
未記入	2,320
総計	4,263



どこに相談したり対処をしたか

(主な記入例)

歯科医院を受診した	516	看護師に相談	11
大分療育センター受診	105	障害者歯科受診	10
施設職員に相談し、歯科受診	93	歯科衛生士に相談	10
自身で解決	89	理学療法士等に相談	9
歯みがき・口腔ケア	42	薬剤を使用	7
食事形態を変えた	39	年齢があがって治療可能になった	7
訪問診療を受けた	38	義歯修理等	7
家族・友人に相談	36	ヘルパー等に相談	5
かかりつけ医・歯科医に相談した	32	知り合い歯科医師に相談	5
病院で診断治療	15	栄養士に相談	5
入所先の施設に対応してもらった	13	全身麻酔で治療	4
定期的歯科受診	11		

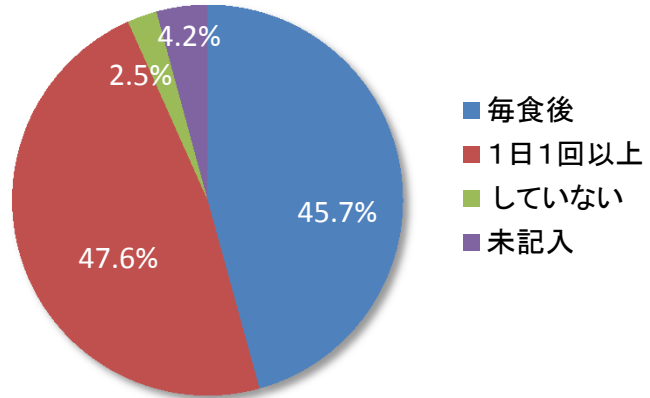
対処できなかった理由

(主な記入例)

意思疎通できず、治療に抵抗する	37	治療を理解できない	8
歯みがきが問題	35	摂食・嚥下が問題	7
治療を拒否・いやがる	29	治療したことがない	6
現在治療訓練中	20	治療必要だが不便を感じない	5
入れ歯が合わない	19	矯正治療	5
口を開けてくれない	13	車いすでの治療が困難	3
歯科治療の必要がわからない	12	治療に回せるお金がない	2
治療できる歯科が近くにない	11	治療が痛いのでいや	2
歯医者が嫌い	10		

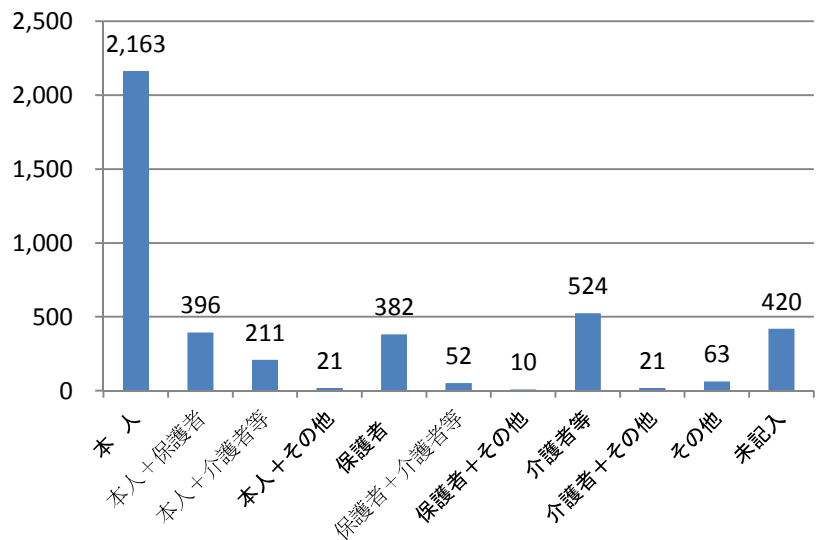
### 歯みがき頻度

歯みがき頻度	人数
毎食後	1,949
1日1回以上	2,029
していない	105
未記入	180
総計	4,263



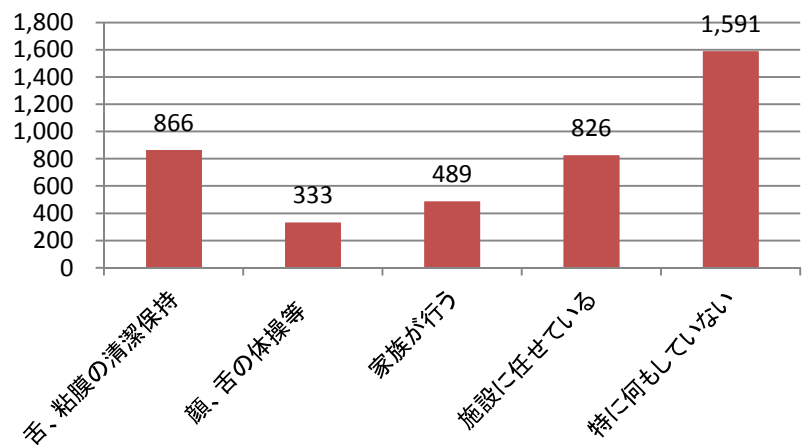
### 歯みがき実施者

歯みがき実施者	人数
本人	2,163
本人+保護者	396
本人+介護者等	211
本人+その他	21
保護者	382
保護者+介護者等	52
保護者+その他	10
介護者等	524
介護者+その他	21
その他	63
未記入	420
総計	4,263



### 口腔ケア

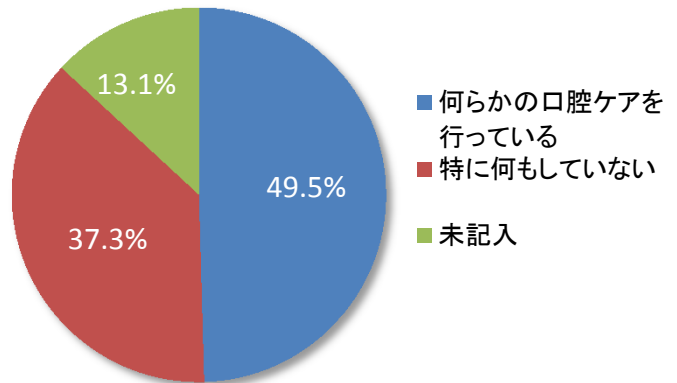
口腔ケア	人数
舌、粘膜の清潔保持	866
顔、舌の体操、 飲み込み訓練	333
家族が行う	489
施設に任せている	826
特に何もしていない	1,591



## 口腔ケアの有無

歯科健診について	人数
何らかの口腔ケアを行っている	2,112
特に何もしていない	1,591
未記入	560
総計	4,263

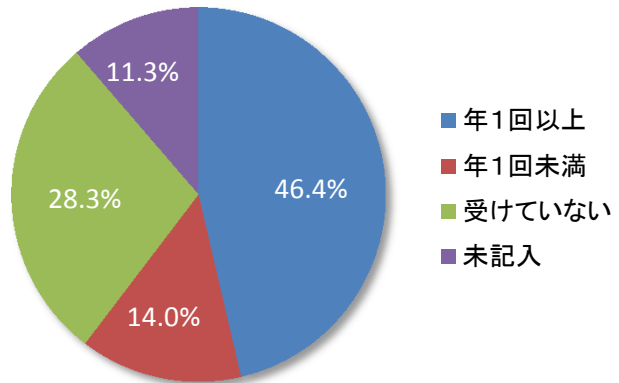
## 口腔ケア



## 歯科健診の頻度

歯科健診について	人数
年1回以上	1,976
年1回未満	597
受けていない	1,208
未記入	482
総計	4,263

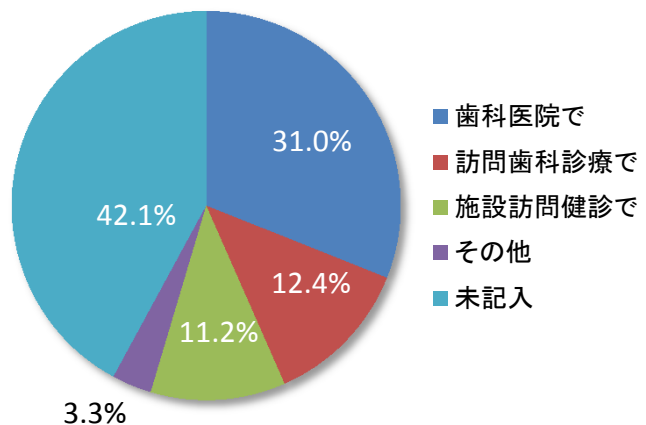
## 歯科健診



## 歯科健診受診機会

健診受診の方法	人数
歯科医院で	1,323
訪問歯科診療で	527
施設健診で	478
その他	141
未記入	1,794
総計	4,263

## 健診受診の方法



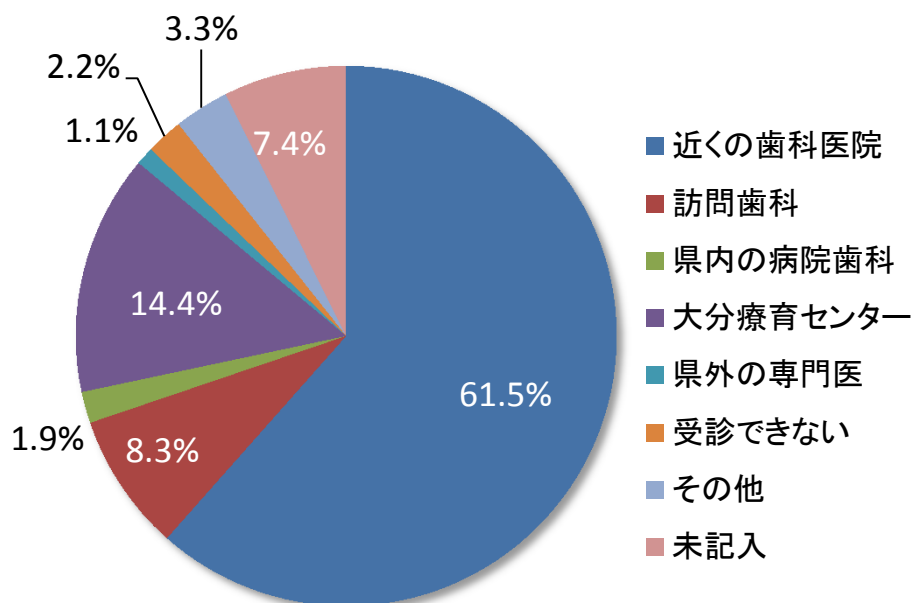
歯科健診を毎年受けている方は約半数いたが、受けていない方は未記入を含めると約4割にのぼった。  
 歯科健診は歯科医院で受診、訪問歯科で受診、施設で受診が約半数であった。



### Ⅲ 歯科治療が必要なときの対処

歯科治療が必要になったとき、どこを受診しているか。

近くの歯科医院	2,623	61.5%
訪問歯科	352	8.3%
県内の病院歯科	80	1.9%
大分療育センター	614	14.4%
県外の専門医	46	1.1%
受診できない	94	2.2%
その他	140	3.3%
未記入	314	7.4%



#### その他の例

受診経験なし、必要なし	22	矯正クリニック	1
大分市歯科専門学校 附属歯科診療所	7	施設で検診してもらっている 歯科	1
少し遠い歯科医院	4	県外の歯科医	1
かかりつけ	3	福岡市 おがた歯科	1
北九州市立総合療育センター	3	田中歯科医院	1
別府リハビリテーションセンター	3	西別府病院	1
県内の小児歯科医院	2	きふね小児歯科	1
県外の訓練施設	2	久留米聖マリアンナ病院	1
大分子ども療育センター	2		

## 歯科治療の受診方法と移動手段

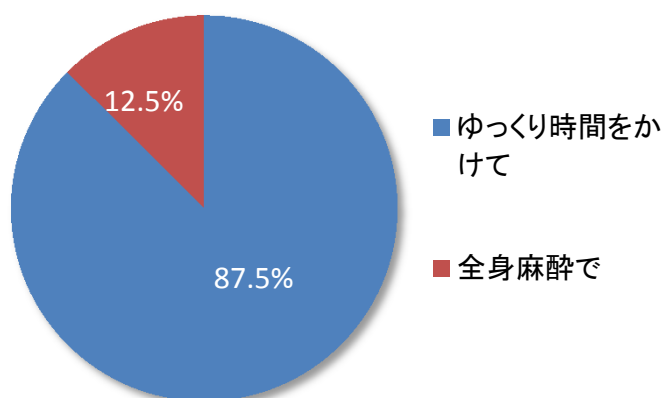
受診方法	人数
自分	1,111
家族介助	1,287
往診	392
その他	133
施設職員介助	854
未記入	486
総計	4,263

移動手段	人数
自家用車等	1,530
施設の車	987
徒歩	229
バス、電車	181
その他	187
自転車	158
介護タクシー等	114
バイク等	17
車イス	14
未記入	844
総計	4,263

## 歯科治療に関する希望

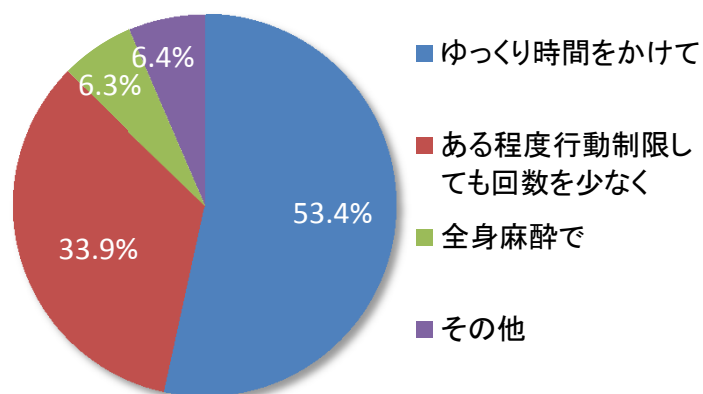
### ご本人

ゆっくり時間をかけて	984
全身麻酔で	141
記入なし	3,138



### ご家族

ゆっくり時間をかけて	1,303
ある程度行動制限しても回数を少なく	828
全身麻酔で	153
その他	155
記入なし	1,824



歯科治療は家族が自家用車を使って受診させるケースが多かった。施設の職員が介助し歯科治療に連れて行くケースも多く見られた。治療に関する希望は、ゆっくり時間をかけて行ってもらいたいと思っている方が多かったが、ご家族ではある程度行動制限してでも回数を少なくしてもらいたいとする希望も約35%に見られた。

#### IV 自由意見

(689名の記載・重複あり)

・障害者の歯科治療をしてくれる歯科医師を増やし、近くで医療を受けられる体制	218
・障がい児の歯科治療を理解してくれる歯科医師、歯科衛生士を増やして欲しい	64
・近くで治療が受けられる体制	55
・歯科健診が出来ると良い	36
・障がい者を受け入れる歯科が増えてほしい	33
・訪問診療してくれる歯科医師を増やしてもらいたい	27
・障害者専門の歯科医院がほしい。	26
・治療費を安くしてほしい	21
・車椅子で治療出来る歯科医院を増やして欲しい。	17
・歯磨きの指導が欲しい	15
・大分療育クリニックの充実	14
・障がい者の歯科治療を行ってくれる歯科医院の情報がほしい。	14
・歯科医師に限らず、障がい者に理解のある医師も少ない。	11
・別府発達医療センターで歯科も診てもらいたい。	9
・同じ先生がずっと診てくれることを希望します	8
・定期的に歯科衛生士による口腔ケアを実施してほしい	8
・今行っている歯科で満足している	7
・安心して治療を受けられる体制づくりをしてもらいたい	6
・虫歯が出来る前の予防に力を入れること	6
・歯科治療をかわらず、同じ場所でうけたい	5
・治療の時間、回数を短縮してほしい	5
・自分がいなくなったら治療できるかどうか心配	5
・待ち時間を短くして欲しい。	5
・最新の機械導入している歯科を増やしてほしい。	4
・状況を詳しく説明してもらいたい	4
・少し頻回に診ていただきたい	4
・わかりやすい説明をしてほしい。	4
・痛くない治療をしてほしい	3
・入れ歯の改良をお願いします。もう少し噛みやすくなると助かります。	3
・絵をかいて分かりやすく説明してほしい	3
・きちんとした治療をしてくれる事を望む	3
・施設内に歯科治療室を作ってもらいたい	3
・磨き残し等のチェック等歯磨き指導を行ってもらいたい。	3
・幼児期より歯科治療の訓練を行える歯科施設を増やして欲しい。	3
・障がい児向けにフッ素塗布などを実施して欲しい。	3
・施設等の職員への勉強会の実施	2
・緊急時に対応出来る医療機関があるといい	2
・歯科医の方も最初から無理と諦めずに一緒に方法を考えて頂けると有難いです。	2
・時間等の配慮をしてくれると助かります。(泣き声等で他の方に迷惑を掛けるので)	2
・バリアフリーの歯科医院を増やしてほしい。	2
・出来るだけ痛みや苦しさが無い治療をして頂きたい	2
・治療を早く終わらせて欲しい	2

- ・恐れている子をおさえて治療せず、その時々で対応できるようにしてほしい。
  - ・矯正治療に保険適応してほしい。
  - ・障害者の治療だけの日等があればよい。
  - ・治療をサポートする歯科衛生士も増やしてほしい。
  - ・障がい者の日常生活の維持ができるような支援バックアップを考えてもらいたい。
  - ・本人は恐がり嫌がると思うので、心のケアをお願いします。
  - ・施設職員へのマウスケア方法などの勉強会の実施。
  - ・摂食指導に詳しい歯科医師が増えて欲しい。近くに歯科で相談出来るといい。
  - ・バリアフリーで、高齢者向けの歯科にして欲しい。
- 自分(歯は)も小さい頃歯医者さんのイメージが怖いとかあって、今でも行くのに戸惑うことがあります。(削る音とか)あの音はどうにかありませんか？
- ・主治医と連携のとりやすい歯科を増やしてほしい。
- 障害者の歯科治療では一回に長時間の治療は難しく長期間の治療が必要と思われる。いろいろな意味でのサポートが必要かと思う。
- 障がい者の歯科治療もだが、その親の歯科治療もしてくれる(こどもの預かりもある)歯科が増えると助かる。
- 歯周病は自分で磨くことが一番ですが、それが本人では出来ないので、月に1回くらい診て頂くとひどくならないので助かる。
- ・障がいのある方が安心して治療・ケアしてくれる歯科医院があると良いと思う。
  - ・診察曜日が限定されるので利用しにくい。
  - ・発達障がい者の歯科治療について、治療支援の連携が大事になると思う。
  - ・清潔に保って下さい。
  - ・誰でも治療してもらえ、相談にのってもらえる体制作りをお願いしたい。
  - ・親切な温かい歯科医さんと出会ったので、障がいがあっても定期的な検診が出来ている。
  - ・全体に関わることだと思うので、ブラッシングの必要性を広めて欲しい。
  - ・送迎出来る歯科医院。入所先でも治療が受けられる。
- 総合病院に歯科がない。土曜の午後と日曜が休診のことが多いので通える日程を調整するのが難しい。
- ・咀嚼低下による肺炎等に気をつけたい。
  - ・高齢なので飲み込みの訓練等を行っていければといいなと思う。
  - ・対外的に気になることが多く、周囲の環境を整える。
- 治療室の写真がや様子などを前もって確認できればイメージトレーニングが出来て、治療がスムーズに出来やすくなると思う。
- ・近くに口臭外来科のある医院が出来ればいい。
  - ・土日も予約が取れて治療が出来るような歯科があるとありがたい。
  - ・入所して1人になっても、定期的に障がい者治療をしてもらいたいです。
  - ・直接治療の内容やお口のケアを聞く機会がないので、不安に思うことがある。
  - ・治療で穴が開いてる歯があるので、早く埋めて欲しい。
- 治療となると全身麻酔なので入院期間も長く付き添いも必要になるので、相当悪くなるまで行かないので困っている。
- ・特殊な場合、保険診療外の治療に対しての個人負担が心配。

脳外科手術を何回もしているのに、麻酔をかけられません。歯は定期的に診察して、いつも虫歯がないように努めています。

脳性麻痺による緊張で歯を噛みしめているので、普通の治療は出来ません。一度全身麻酔で19本治療して、その後大分療育センターでメンテナンスをしてもらっています。障がいの内容のために手軽さよりもきちんと安心して診てもらえることを望みます。そして今後とも口から食事を摂れる状態を維持したいと思います。そしてそれが親がいなくなつて施設に入所してからも可能な状態であつて欲しいと願います。

歯がすり減っているのに、今後どのようなケアを行っていけばよいか知りたい。

歯は自分では磨けていると言うが、歯科検診でのチェックでは出来ていないと指摘される。歯が痛くならないと歯医者に行かないようなので、痛くなる前にどの位で歯医者に行くかの判別が付きにくい。痛くない歯科医に行きたいと本人は希望。

歯は食事をする為だけでなく、健康な体を維持するためにとっても大切な役割を持っています。しかしケアする大切さを子どもに伝えてもあまり理解する事が出来ません。治療の椅子に座る事も恐怖に感じているのです。歯科治療が身近に感じられるような、あたりまえの事に思える治療法や接し方が出来る先生方が増えてくれる事を心から願います。現在通院している所の先生は素晴らしい。

歯をすぐ抜こうとする先生と、歯を残そうとする先生と両方いるので、歯科の選択が難しい。

病院で定期的に診てもらいたい。

本人が歯が悪くなるとどのような弊害があるか実感出来ない内は、歯科治療を嫌がる気がするのですが、本当に悪い状態になったら取り返しがつかないので、通所施設の方でもご指導はして頂いているとは思いますが、歯科治療の必要性や歯が悪くなった時の症状の怖さなどを実感出来るような指導は出来ないでしょうか？

本人に正しい歯みがきの仕方を身につけて頂く。

本人の痛みや「悪い所」「どのようにある」とゆっくり聞いてくれるなどしてくれると、親の私達も安心である。歯がもろく治療中に歯が欠けることなどありました

まだ、虫歯等がない状況ですが、定期的に診てもらいつつ、診察に慣れて先に治療しないといけない状況に役立てるように、本人を慣らしておかないと大変(治療となると)だとうちのこの場合そう思っています。

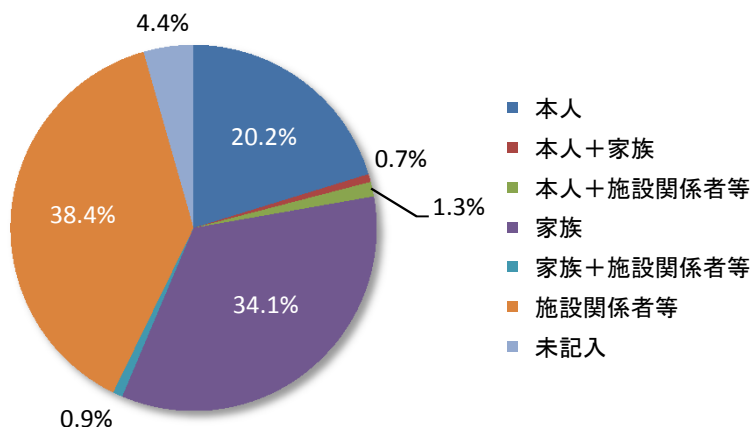
口から食事を取れないで胃瘻にしている為、歯科治療の事は強く考えていない。

口臭の改善方法を知りたい。

九州歯科大にて全身麻酔による歯科治療をしている。治療経過は順調。大学までの移動手段は福祉タクシーを利用することが出来た。

## アンケート記入者

アンケート記入者	人数
本人	863
本人+家族	30
本人+施設関係者等	55
家族	1,455
家族+施設関係者等	37
施設関係者等	1,635
未記入	188
計	4,263



## アンケート用紙

**障がいのある方の歯科保健医療に関する実態調査  
調査票**

この調査は、障がいのある方の歯科保健医療体制について検討するため、大分県が実施するものです。ご協力よろしくお願いします。

【回答する際のお願い】

それぞれの質問の該当する番号に○印を、または空欄に文字を記載してください。  
 内容に関するご質問は、大分県 健康対策課 健康増進班 までお願いします。  
 (TEL : 097-506-2666 FAX : 097-506-1735)

**I 現在の状況を教えてください。**

1 年齢 満 (      ) 歳

2 性別 男      女

3 障がいの種別、程度

① 身体障がい  
 ・障がい種別 (      )  
 ・障がい程度 (      種      級)

② 知的障がい  
 ・療育手帳 無      有 ( A1 A2 B1 B2 )

③ 精神障がい  
 ・精神障害者保健福祉手帳 無      有 ( 1 2 3 ) 級

4 生活の場についてお答えください。

① 在宅  
 ② 通所  
 ③ 入所・入院  
 ④ その他 (      )

5 日常の移動についてお答えください。

① 自分で歩ける  
 ② 一部介助で歩行 (杖や歩行器使用も含む)  
 ③ 車椅子使用  
 ④ 寝たきり

6 食事の状況をお答えください。

① 普通食  
 ② 軟食  
 ③ 流動食  
 ④ その他 (      )

**II 歯・口のことで教えてください。**

1 これまでに障がいのある方の歯や口のことで、ご本人やご家族が困ったことがありますか。  
 (複数回答可)

① 歯や歯ぐきが痛み、食事ができなかったことがある。  
 ② 歯や舌の汚れに関することで困ったことがある。  
 ③ 噛むことに不自由があり困ったことがある。  
 ④ いれ歯が合わなくて困ったことがある。  
 ⑤ 歯科治療に関することで困ったことがある。  
 ⑥ 口のおいがきつくて困ったことがある。  
 ⑦ 口の中の手入れの方法がわからず困ったことがある。  
 ⑧ 飲み込みが悪く困ったことがある。  
 ⑨ その他 (      )  
 ⑩ 特になし

2 困ったことは解決できましたか。

① できた      ② できなかった。(あれば理由      )

↓

解決できた方にお聞きします。  
 どちらに相談や対処してもらいましたか。それともご自身で解決しましたか。  
 ・(方法      )

3 歯みがきの状況についてお答えください。

(1) どのくらい ① 毎食後      ② 1日1回以上      ③ していない → 4へ

(2) 方法 ① 歯ブラシ      ② 歯間ブラシ  
 ③ 糸ようじ      ④ その他 (      )

- (3) 実施者 ① 本人 ② 保護者  
③ 介護士や看護師等 ④ その他 ( )

4 口の中のケアなどの取組についてお答えください。

- ① 舌や粘膜など歯以外の口の中の清潔の保持に努めている  
② 顔の体操、舌の体操、マッサージ、飲み込み訓練等を実施している  
③ 家族が行っている  
④ 施設等にまかしている  
⑤ 特に何もしてない

5 歯科健診についてお答えください。

- (1) 頻度 ① 年に1回以上 ② 年に1回未満 ③ 受けていない → Ⅲへ  
(2) 方法 ① 歯科医院を受診  
② 歯科医師等に訪問をしてもらう  
③ 入所・通所施設で行っている  
④ その他 ( )

Ⅲ 歯科治療が必要なときの対処について教えてください。

1 歯科治療の受診先等についてお答えください。

- (1) 受診先  
① 近くの歯科医院  
② 歯科医院の訪問歯科治療  
③ 病院施設 (大学病院・日赤・県病) ※県内の施設  
④ 大分療育センター・別府発達医療センター  
⑤ 県外の専門医  
⑥ 受診できない。  
⑦ その他 ( )
- (2) 受診方法 ① 自分で ② 家族等の介助で  
③ 住診・訪問診療 ④ その他 ( )
- (3) 移動手段 ① 介護タクシー ② 自家用車 (家族が乗せて)  
③ バス、電車など ④ その他 ( )

2 歯科治療に関して、どのような治療を望まれますか。

- (1) ご本人が御記入の場合はこちらをお答え下さい。  
① 治療方法がわかるよう説明のうえ、ゆっくりと時間をかけて治療してもらいたい。  
② 全身の麻酔をかけて意識がないうちに集中的に治療してもらいたい。
- (2) ご家族のかたにお訪ねします。  
① 本人が理解できるよう説明のうえ、ゆっくりと時間をかけて治療してもらいたい。  
② ある程度は行動を制限してでも、少ない回数で早く治療してもらいたい。  
③ 全身の麻酔をかけて集中的に治療してもらいたい。  
④ その他 ( )

Ⅳ 自由記載

1 歯科治療・口腔ケア等に関して、困っていることや心配なことがあれば

お書きください。

(例) 近くに治療してくれる歯科医師がいない。

2 歯科治療等において、今後どのようなことが必要でしょうか。

ご意見、ご希望があれば、お書きください。

(例) 障がい者の歯科治療をしてくれる医師を増やし、近くで治療が受けられる体制を整える。

□ ご記入になられた方は

- ① ご本人 ② ご家族 ③ 医療関係者 ④ 施設関係者  
⑤ その他 ( )

ご協力ありがとうございました。